

まちの「今」をお届けします

ガラスアートの魅力を発信 「CLASS GLASS」 銀座三越でお披露目展覧会

ガラス文化の発展を目的に、市が市内在住のガラス造形作家とともに立ち上げたガラスアートの新ブランド「CLASS GLASS(くらすグラス)」(詳しくは広報「さんようおのだ」3月1日号4ページをご覧ください)のお披露目展覧会が、3月10日から16日までの期間、銀座三越(東京都中央区)で開催されました。12日には、藤田剛二市長と、きららガラス未来館やソル・ポニエンテの建築デザインを手掛けるなど本市にゆかりのある建築家の隈研吾氏も会場を訪れました。

藤田市長は「20年以上本市で続けてきたガラスアートの取組を全国に発信していく新たな一歩を踏み出した。ガラス造形作家たちが磨き上げてきたガラスアートの文化と、夕陽や海など自然のきらめく一瞬を作品に込めて届けたい」とコメントしました。また、隈氏も「海辺に二つの建物をデザインして以来、あの海は僕の友人になった。あの輝く海は個性的なガラス作家を生み、海がガラスに昇華したような素敵な作品が、世界のいろいろな場所で輝き始めるだろう」とコメントされました。



左から隈氏、藤田市長



左から長谷川裕教育長、埴生公民館森廣真由美主事、中村達実館長、藤田剛二市長

地域と学校の協働活動拠点として貢献 埴生公民館が優良表彰受賞

埴生公民館(現埴生地域交流センター)が第74回全国優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)を受賞し、3月16日、市役所で受賞報告会が行われました。同館は、埴生小中一貫校と隣接している強みを活かし、地域と学校とのパイプ役に努め、地域学校協働活動の拠点としての役割を果たしていることなどが評価されました。



児童代表あいさつをする河口くん

「思い出をありがとう」長い歴史に幕 津布田小学校で閉校式

4月から埴生小中一貫校へ統合される津布田小学校で3月20日、閉校式が行われました。式には児童や地域住民ら約150人が出席し、親しんだ学び舎との別れを惜しみました。児童を代表して6年生の河口友翔くんが「今まで学んだことを胸に、津布田っ子を誇りに、夢と希望を持ち未来へ羽ばたきます」と誓いました。